

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【公開番号】特開2004-47843(P2004-47843A)

【公開日】平成16年2月12日(2004.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2004-006

【出願番号】特願2002-204978(P2002-204978)

【国際特許分類第7版】

H 0 5 K 7/20

F 2 5 D 9/00

G 0 6 F 1/20

H 0 1 L 23/473

【F I】

H 0 5 K 7/20 M

F 2 5 D 9/00 B

G 0 6 F 1/00 3 6 0 C

G 0 6 F 1/00 3 6 0 A

H 0 1 L 23/46 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月27日(2005.6.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

発熱素子を取付けた第1の筐体と、この第1の筐体に複数のヒンジで回転支持され表示器を有する第2の筐体とを備えた電子装置において、

前記発熱素子に接続された受熱ジャケットと、前記第2の筐体内に取付けられた放熱パイプと、この放熱パイプに取付けられた放熱板と、この放熱板に取付けられたタンクと、前記第1の筐体内に取付けられ前記タンク内の液体を前記受熱ジャケットに移送する液駆動手段とを備え、前記受熱ジャケットと前記放熱パイプと前記タンクと前記液駆動手段を接続する配管のうち前記ヒンジを通す配管がフレキシブルチューブで接続されてなり、

前記複数のヒンジは、前記タンクの出口側配管と前記受熱ジャケットとを接続するフレキシブルチューブと前記液駆動手段と前記タンク入口側配管を接続するフレキシブルチューブを通す第1のヒンジと、前記表示器からの電線を通す第2のヒンジであることを特徴とする電子装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

【課題を解決するための手段】

上記目的は、発熱素子を取付けた第1の筐体と、この第1の筐体に複数のヒンジで回転支持され表示器を有する第2の筐体とを備えた電子装置において、前記発熱素子に接続された受熱ジャケットと、前記第2の筐体内に取付けられた放熱パイプと、この放熱パイプ

に取付けられた放熱板と、この放熱板に取付けられたタンクと、前記第1の筐体内に取付けられ前記タンク内の液体を前記受熱ジャケットに移送する液駆動手段とを備え、前記受熱ジャケットと前記放熱パイプと前記タンクと前記液駆動手段を接続する配管のうち前記ヒンジを通す配管がフレキシブルチューブで接続されてなり、前記複数のヒンジは、前記タンクの出口側配管と前記受熱ジャケットとを接続するフレキシブルチューブと前記液駆動手段と前記タンク入口側配管を接続するフレキシブルチューブを通す第1のヒンジと、前記表示器からの電線を通す第2のヒンジであることにより達成される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】